ミラー施工説明書　MTK300X900, MTK1200X450

株式会社リラインス

施工説明書にそって正しく取り付けて下さい。

1．安全上のご注意（必ずお守りください）

取付工事の前に、この安全上のご注意をよくお読みの上、正しく取付けてください。

◎表示内容を無視して誤った施工をした時に生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

注意	この表示の欄は「損害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	内容
注意喚起	この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
禁止	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
強制	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

注意

下地壁の乾燥は、十分に行ってください。不十分な場合は、鏡の塗装面が侵されることがあります。

重量・形状により適正な持ち運び人員で安全確認を十分行い作業して下さい。落下などにより鏡が破損し、大きな怪我をする恐れがあります。

下フレームは、鏡を支える重要な役目を持っています。十分な強度を確保されていることを確認して下さい。不十分な場合は、落下の原因となります。

下地処理は、確実に行って下さい。不十分な場合は，ミラーマットの接着力が得られず落下の原因につながります。

万一鏡に割れが生じた場合も、鏡の落下を防止出来るように、ミラーマットを施工説明書通りに施工して下さい。

洗面所でご使用頂く鏡です。浴室内不可となりますので、設置場所にはご注意下さい。

2．施工上の注意点

①鏡の取り付けの際には、取付金具より２０㎜以上の空間を確保して下さい。
（取付金具のスライド代が必要となります。）
◎上下フレーム（ツメ金具）の場合は、上フレーム（上ツメ金具）上部に２０㎜以上の空間を確保して下さい。

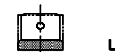
②取付面の下地のチェックをして下さい。
◎鏡の施工後の耐久度、ゆがみの有無などは下地壁の良否に左右されます。
◎鏡の重量を支える強度を持つ、十分に乾燥した平面が必要な条件です。

③準備
◎カウンターや壁面などを養生し、保護して下さい。
◎鏡を置く時は必ず床、壁に緩衝材を敷いて下さい。
◎鏡の持ち運びの際は足元に十分注意し、鏡を壁などにぶつけないようにして下さい。
（鏡重量は、1㎡あたり１２．５kg）

注意	重量・形状により適正な持ち運び人員で安全確認を十分行い作業して下さい。落下などにより鏡が破損し、大きな怪我をする恐れがあります。

3．部材明細

各取付仕様別の部材と個数を確認してください。

【ツメ金具仕様】
MTK1200×450

部材名	数量	備考
鏡	1	
ツメ金具	3組	パッキン付
ビス	6本	
ミラーマット	8枚	

【上下フレーム仕様】
MTK300×900

部材名	数量	備考
鏡	1	
上フレーム	1	穴部パッキン付
下フレーム	1	穴部パッキン付
ビス	4本	
ミラーマット	6枚	
ライナー	2	

4―（1）施工手順

【　上下フレームまたはツメ金具による鏡の取付　】

①下フレームの取付（下ツメ金具の取付）
　　下フレーム（下ツメ金具）を取付ビスで下地材に十分に固定して下さい。

注意　下フレームは鏡を支える重要な役目を持っています。十分な強度が確保されていることを確認して下さい。不十分な場合は、落下の原因となります。

②上フレーム（上ツメ金具）の取付
指でスライド出来る程度にビスを締め付け、上方に引き上げておきます。

◎両側が壁の場合は、左右の隙間を均一にして下さい。（＊ａ寸法）
◎下地に不陸がある場合は，フレームに歪みが出ないようにスペーサー等で調整して下さい。

③ミラーマットの取付（ツメ金具仕様も同様）
◎壁面下地は、汚れ・湿気・油脂分などの付着を落としミラーマットを所定の位置に貼り付けて下さい。

注意　下地処理は確実に行って下さい。不十分な場合は落下の原因となります。

④ライナーのはめ込み（ツメ金具仕様は不要です）
◎下フレーム両端に緩衝用ライナーをはめ込み、鏡とフレームが直接触れないようにして下さい。

⑤鏡の取付

a. ミラーマットの剥離紙を剥がさないで鏡を仮固定し、壁とのあき、鏡の歪みをチェック調整して下さい。**※上フレームの鏡へのかかり代は、見付けの１/２以上確保して下さい。**

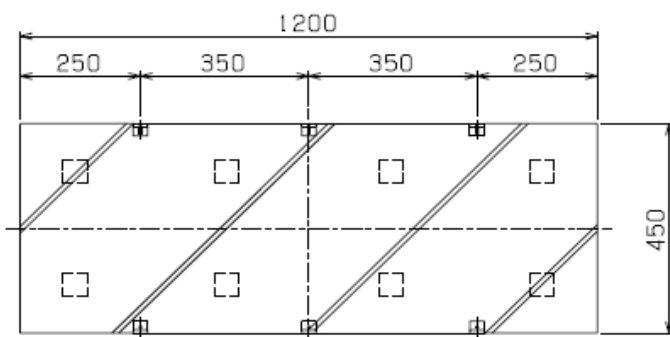
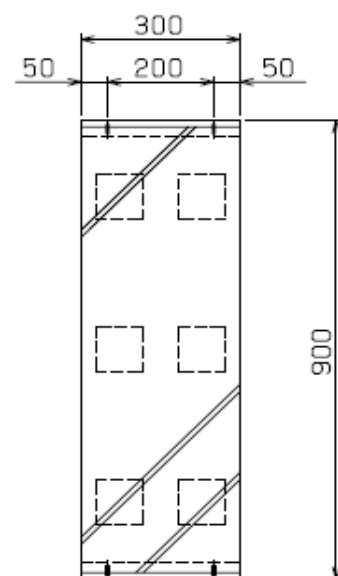
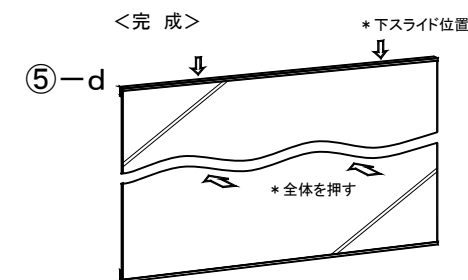
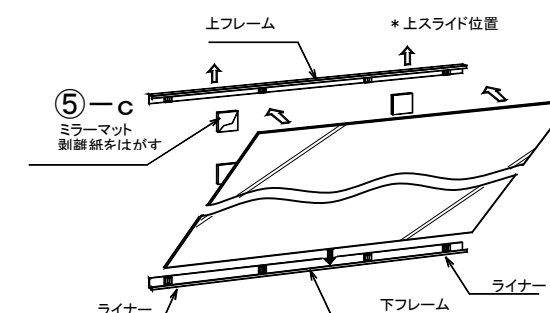
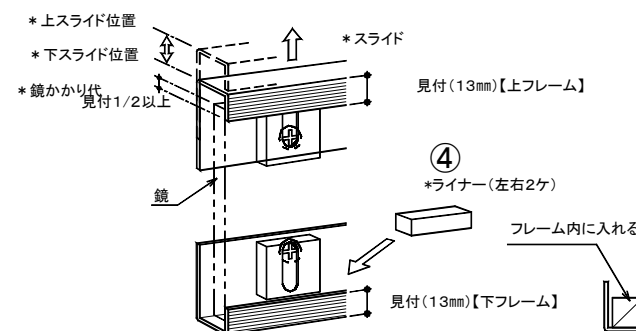
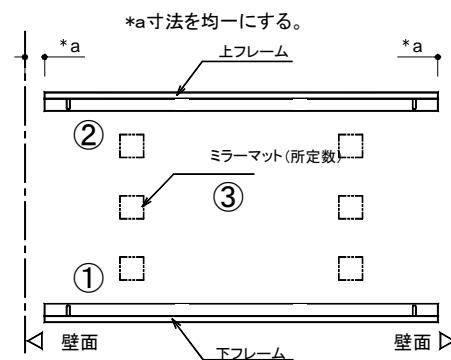
b. 調整完了後、鏡をいったん取り外します。

c. ミラーマットの剥離紙を剥がし鏡を再度据付け上フレームを所定の位置まで下方に引き下げます。

d. 鏡がミラーマットになじむように鏡面全体を押して下さい。

e. 鏡を連装する場合は、必ず目地（通常3～4㎜）をとりコーキングして下さい。
※コーキング剤は無酢酸のものを使用して下さい。

【 寸法参考図 】

【ツメ金具仕様】
MTK1200×450

【上下フレーム仕様】
MTK300×900

《ツメ金具付鏡・上下フレーム付鏡取付手順》

5-取扱説明書

お手入れ方法

●ミラーが汚れたときは、直接水をかけずに固く絞った布で拭いて下さい。
カビや腐食の原因となります。
汚れがひどいときは、スポンジや布に中性洗剤をつけて拭き取り、その後洗剤が残らないように固く絞った布で拭いてください。

●アルコール、ベンジン、クレンザー、スチールタワシ、ナイロンタワシなどは表面を傷めますので使用しないで下さい。

●本来の使用目的以外でのご使用はしないで下さい。重大な事故につながるおそれがあります。

●小さなお子様が鏡にぶらさがったりしないようにご注意ください。鏡の落下や破損によりケガ等の恐れがあり非常に危険です。

●本体に水をかけないで下さい。縁部から水分がしみ込み鏡の劣化につながる可能性があります。

●天災やその他の不可抗力、お客様のお取り扱い上の不注意、不当な改造や修理による故障、損傷その他の被害につきましては責任を負いかねますので予めご了承下さい。

お問い合わせ・その他は

株式会社リラインス
TEL03-3479-9203
http://www.le-bain.com
（月～金　10:00～17:00）

2008.01